# 解答: 平均値・中央値・最頻値を比べる：小学校の復習

MomentDesk · https://momentdesk.com/ja/practice/representative-values-review/

中1 数学

1. 平均値 = 6 / 中央値 = 5

   合計は30、個数は5。平均値は6、小さい順に見た中央値は5です。

2. 平均値 = 7 / 中央値 = 7

   合計は42、個数は6。平均値は7、小さい順に見た中央値は7です。

3. 平均値 = 6 / 中央値 = 6

   合計は42、個数は7。平均値は6、小さい順に見た中央値は6です。

4. 平均値 = 5 / 中央値 = $\frac{7}{2}$

   合計は30、個数は6。平均値は5、小さい順に見た中央値は7/2です。

5. 平均値 = 6 / 中央値 = 5

   合計は42、個数は7。平均値は6、小さい順に見た中央値は5です。

6. 平均値 = 8 / 中央値 = 8

   合計は48、個数は6。平均値は8、小さい順に見た中央値は8です。

7. 平均値 = 5 / 中央値 = 6

   合計は35、個数は7。平均値は5、小さい順に見た中央値は6です。

8. 平均値 = 10 / 中央値 = $\frac{19}{2}$

   合計は80、個数は8。平均値は10、小さい順に見た中央値は19/2です。

9. 最頻値 = 4 / 中央値 = 4

   最も多いのは4の3回なので、最頻値は4。中央値は4です。

10. 小さい方の最頻値 = 3 / 大きい方の最頻値 = 5

    3と5がともに最多の2回現れます。最頻値は二つあります。

11. 最頻値 = 0 / 中央値 = 1

    最も多いのは0の3回なので、最頻値は0。中央値は1です。

12. 小さい方の最頻値 = 6 / 大きい方の最頻値 = 9

    6と9がともに最多の2回現れます。最頻値は二つあります。

13. 追加後の平均値 = 10 / 追加後の中央値 = $\frac{11}{2}$

    加えた後の個数は6、合計は60です。平均値は10、中央の二つの平均による中央値は11/2。

14. 追加後の平均値 = 10 / 追加後の中央値 = 4

    加えた後の個数は6、合計は60です。平均値は10、中央の二つの平均による中央値は4。

15. 追加後の平均値 = 15 / 追加後の中央値 = $\frac{15}{2}$

    加えた後の個数は6、合計は90です。平均値は15、中央の二つの平均による中央値は15/2。

16. 追加後の平均値 = $\frac{40}{3}$ / 追加後の中央値 = 4

    加えた後の個数は6、合計は80です。平均値は40/3、中央の二つの平均による中央値は4。

## 記述問題の解答・確認の観点

架空の記録13、14、14、15、90について、平均値と中央値を求め、日常的な記録の中心を説明するときに何へ注意するか書いてください。

平均値は146/5 = 29.2、中央値は14。90が平均値を大きく動かすので、代表値の目的と全体の分布を確かめて説明する。

数値だけでなく、極端な値の影響と、目的に応じて代表値を選ぶ理由を確認します。

2、2、4、4、7の最頻値は一つだけだという説明を確かめてください。

2と4がどちらも2回で最も多く、最頻値は2と4の二つ。

現れる回数を比較し、複数の最頻値を認めているか確認します。

Aは6、8、10、Bは0、8、16です。平均値が同じなのでデータの様子も同じ、という説明を直してください。

どちらも平均値は8だが、Aの範囲は4、Bは16。広がりは同じではなく、一つの代表値だけでは分布全体は決まらない。

平均値の一致と、個々の値や広がりの違いを分けて説明しているか確認します。